

# 日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会  
(事務局 圓藤吟史)  
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内  
FAX 06-6646-3160  
発行責任者(地方会長) 堀口俊一

## 第50回近畿地方会総会および50周年記念基調講演・シンポジウムのご案内

日本産業衛生学会近畿地方会 会長 堀口 俊一

日本産業衛生学会近畿地方会の総会を開催いたします。会員の多数の参加をお待ちしています。

日 時 平成14年5月25日(土) 13時から16時30分まで

場 所 大阪市立大学医学部学舎 4階中講義室

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

●地下鉄御堂筋線・谷町線「天王寺」 ●JR「天王寺」

●近鉄南大阪線「あべの橋駅」より西へ徒歩10分

### — 総会プログラム —

議事 13時00分～13時50分

- (1) 平成13年度事業報告および平成13年度決算報告
- (2) 平成14年度事業計画(案)および平成14年度予算(案)報告
- (3) その他

### 50周年記念基調講演・シンポジウム

14時00分～16時30分

テーマ「近畿地方会50年のあゆみと今後の展望」

#### 1. 基調講演

「日本産業衛生学会近畿地方会50年をふりかえって」

演 者 堀口 俊一 (近畿地方会長)

座 長 徳永 力雄 (関西医科大学衛生学)

#### 2. シンポジウム これからの産業保健—私の提案—

演 者 山田 誠二 (松下産業衛生科学センター)

海道 昌宣 (P&G)

河合 俊夫 (中災防大阪労働衛生総合センター)

植本 寿満枝 (北大阪地域産業保健センター)

熊谷 信二 (大阪府立公衆衛生研究所)

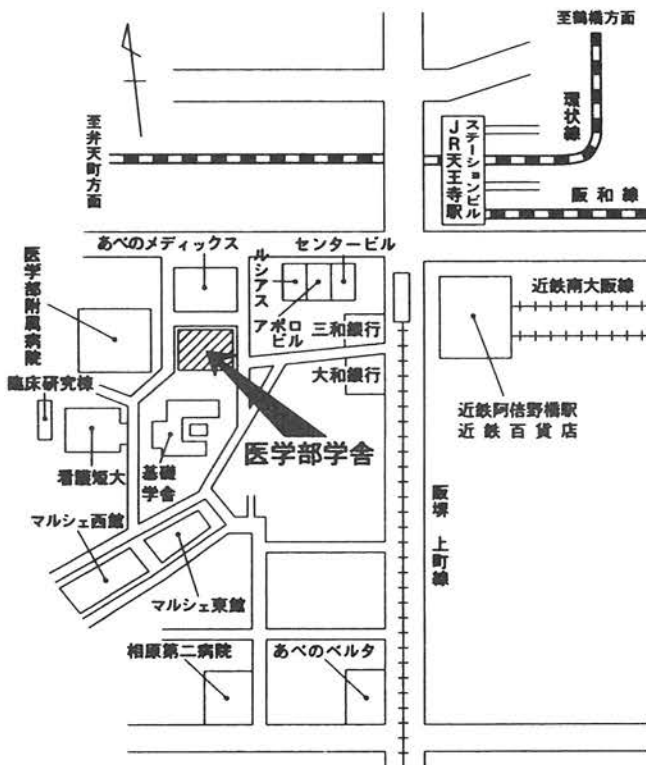
小泉 昭夫 (京都大学大学院健康要因学)

埴田 和史 (滋賀医科大学予防医学)

#### 総合討論

司 会 小泉 直子 (兵庫医科大学公衆衛生)

圓藤 吟史 (大阪市大大学院産業医学分野)



### 評議員の皆さまへ

総会の前に評議員会を開催いたしますので評議員の方はご出席下さい。

日 時 平成14年5月25日(土) 12時20分～12時50分

場 所 大阪市立大学医学部学舎4階 小講義室1

地方会ニュースに同封されています総会および評議員会  
出欠確認用ハガキを5月17日までに必ずご返送下さい。  
昼食の準備はしておりませんので予めさせてご来場下さい。

## 総会資料

## 平成13年度決算及び平成14年度予算(案)

	平成 13 年 度		平成14年度(案)
	予 算 額	決 算 額	予 算 額
(収 入 の 部)			
収 入 合 計	7,176,949	11,009,610	5,907,336
前 期 繰 越 金	2,375,949	2,375,949	1,897,136
本 部 交 付 金	1,890,000	1,933,500	2,000,000
地 方 会 費	1,700,000	1,708,000	1,800,000
利 息	1,000	107	200
広 告 収 入	210,000	240,000	210,000
雑 収 入	500,000	700,000	0
役 員 選 挙 積 立 金 解 約	500,000	521,896	0
記 念 事 業 積 立 金 解 約		3,530,158	0
(支 出 の 部)			
支 出 合 計	7,176,949	11,009,610	5,907,336
需 要 費 合 計	2,100,000	1,908,473	1,950,000
印 刷 費	700,000	714,060	750,000
備 品	400,000	419,475	300,000
消 耗 品	100,000	56,894	100,000
通 信 運 搬 費	900,000	718,044	800,000
地 方 会 運 営 費 合 計	605,000	596,453	605,000
総 会 費	150,000	183,648	150,000
学 会 費	350,000	350,000	350,000
幹 事、評 議 員 会 費	105,000	62,805	105,000
部 会 活 動 費 合 計	200,000	200,000	200,000
産 業 医 部 会	100,000	100,000	100,000
産 業 看 護 部 会	100,000	100,000	100,000
研 究 会 費 合 計	440,000	270,000	500,000
研 究 会 補 助 金	350,000	150,000	350,000
研 修 会 補 助 金	90,000	120,000	150,000
事 務 局 費 合 計	400,000	400,000	400,000
活 動 費 合 計	510,000	455,000	510,000
学 術 担 当 費	250,000	225,000	250,000
広 報 活 動 費	150,000	150,000	150,000
理 事 活 動 費	110,000	80,000	110,000
選 挙 費 用	600,000	312,106	0
記 念 事 業 費	0	4,030,158	0
積 立 金 合 計	500,000	0	300,000
役 員 選 挙 積 立 金	0	0	300,000
記 念 事 業 費 積 立 金	500,000	0	0
事 業 費	500,000	500,000	0
第75回日本産業衛生学会開催補助金	500,000	500,000	0
諸 雑 費	100,000	5,784	100,000
予 備 費	1,221,949	434,500	1,342,336
ホームページ作成料・保守管理		378,000	
幹事会交通費(3回分)		56,500	
次 年 度 繰 越 し 金	0	1,897,136	0

## 財産目録

1. パソコン Gateway SOLO 5300 1台  
2. パソコン NEC 98ノート 1台  
3. エプソンレーザープリンター 1台

4. FAXおよびTEL回線  
5. パソコン Panasonic Let's Note 1台：廃棄処分

## 事務局からのお願い

地方会費納入のお願い

- ① 地方会費は、2000円です。同封の振込用紙で郵便局から払い込んで下さい。

口座番号：00980-6-120808

加入者名：日本産業衛生学会近畿地方会

- ② 振込人と会員名が異なるときは必ず通信欄に会員名をご記入下さい。
- ③ 経費節減並びに事務処理の簡素化のため領収書は発行いたしません。振込用紙の控えを領収書に替えさせていただきます。
- ④ 総会当日、地方会費の納入を受け付けます。(領収書は地方会から発行します)

## 平成13年度日本産業衛生学会 近畿地方会事業報告

### I. 第49回近畿地方会総会および特別講演会

日 時：平成13年5月26日(土) 12:50~17:00

場 所：大阪市立大学医学部学舎4階 大講義室

出席者：360名(出席者68名、委任状292名)

会員数1263名(平成13年5月現在)

特別講演：健康診断の事後措置をめぐって

- (1)「改正労災保険法による二次健康診断等の給付事業について」

酒井 英雄(大阪府医師会産業医部会副会長)

- (2)「嘱託産業医としての事後措置の現状と課題」

本出 肇(大阪府医師会産業医部会常任委員)

- (3)「保健指導基準の標準化に向けて」

- 1) 専属産業医の立場から

本岡 康(新日鐵株広畑製鐵所産業医)

- 2) 産業保健婦・看護婦の立場から

藪田 千津子(兵庫信用金庫組合健康管理室課長)

司会 河野 公一(大阪医大衛生学公衆衛生学)

### II. 第41回近畿産業衛生学会

日 時：平成13年11月10日(土) 9:30~17:00

場 所：京大会館

学会長：小泉 昭夫(京都大学大学院教授)

特別講演：

- (1)「代替フロンによる健康障害」

大前 和幸(慶應義塾大学教授)

- (2)「アスベスト塵肺の近年の知見」

井口 弘(兵庫医科大学教授)

座長 小泉 昭夫(京都大学大学院教授)

ワークショップ：

「法的に見た知る権利とリスクコミュニケーション」

稲葉 一人(元検事、京都大学大学院医学研究科院生)

座長 大脇 多美代(富士銀行大阪健康管理センター)

### III. 評議員会

第1回 平成13年5月26日(土) 大阪市立大学医学部学舎

第2回 平成13年11月10日(土) 京大会館

### IV. 幹事会

第1回 平成13年5月26日(土) 大阪市立大学医学部学舎

第2回 平成13年8月27日(月) 大阪市立大学医学部学舎

第3回 平成13年11月10日(土) 京大会館

第4回 平成14年1月17日(木) 大阪市立大学医学部学舎

臨時 平成14年3月19日(火) 大阪市立大学医学部学舎

### V. 近畿地方会ニュース

(1) 近畿地方会ニュース第46号 平成13年5月1日

(2) 近畿地方会ニュース第47号 平成13年7月15日

(3) 近畿地方会ニュース第48号 平成13年10月15日

(4) 近畿地方会ニュース第49号 平成14年1月15日

### VI. 産業医・産業看護部会

- (1) 第6回近畿産業医・産業看護協議会

日 時：平成13年6月23日(土) 13:00~16:30

場 所：ドーンセンター

メインテーマ：「21世紀の健康づくり-企業からみた健康日本21-」

基調講演：「健康日本21のあらまし」

芝池 伸彰(厚生労働省大臣官房参事官)

座長 佐野 敦(松下電子部品株本社健康管理室所長)

シンポジウム：健康日本21を企業の健康づくりに如何に活かすか

- 1) 日高 秀樹(三洋電機連合健康保険組合保健医療センター所長)

- 2) 岡山 明(岩手医科大学教授)

- 3) 朝枝 哲也((財)京都工場保健会副所長)

- 4) 佐々木博子(JR西日本福知山鉄道健診センター保健婦)

座長 圓藤 吟史(大阪市大大学院医学産業医学分野)

植本 寿満枝(日本予防医学協会関西支部)

参加者数 418名

### VI-1. 近畿産業医部会

- (1) ケースカンファレンス・ケーススタディ研修会

①日 時：平成13年10月11日(木)

場 所：大阪中央地域産業保健センター(参加者 26名)

②日 時：平成13年10月25日(木)

場 所：西野田地域産業保健センター(参加者 15名)

③日 時：平成13年11月8日(木)

場 所：北大阪地域産業保健センター(参加者 22名)

④日 時：平成13年11月15日(木)

場 所：羽曳野地域産業保健センター(参加者 22名)

⑤日 時：平成13年12月6日(木)

場 所：泉大津地域産業保健センター(参加者 6名)

⑥日 時：平成13年12月20日(木)

場 所：堺地域産業保健センター(参加者 27名)

⑦日 時：平成14年1月17日(木)

場 所：天満地域産業保健センター(参加者 28名)

⑧日 時：平成14年1月24日(木)

場 所：茨木地域産業保健センター(参加者 22名)

- ⑨日 時：平成14年1月31日（木）  
場 所：岸和田地域産業保健センター（参加者 10名）
- ⑩日 時：平成14年2月7日（木）  
場 所：大阪西地域産業保健センター（参加者 8名）
- ⑪日 時：平成14年2月14日（木）  
場 所：大阪南地域産業保健センター（参加者 12名）
- ⑫日 時：平成14年2月28日（木）  
場 所：淀川地域産業保健センター（参加者 18名）
- ⑬日 時：平成14年3月7日（木）  
場 所：東大阪地域産業保健センター（参加者 10名）

VI-II. 近畿産業看護部会

- (1) 近畿産業看護部会実態調査  
平成13年4月～5月実施
- (2) 産業看護部会平成13年度特別研修会  
日 時：平成13年12月4日（火）14：00～16：00  
場 所：大阪産業保健推進センター  
テーマ「今話題の海外感染症について—生物兵器のアレコレ—」  
講師 橋本 博（大阪産業保健推進センター相談員）  
参加者数 34名
- (3) 産業看護部会平成13年度研修会  
日 時：平成14年2月7日（木）13：30～16：30  
場 所：NTT大阪内本町会館  
テーマ 心の健康づくりと産業看護職の役割  
～事例支援への検討～  
講師 山田 誠二（松下産業衛生科学センター）  
参加者数 33名

VII-1. 産業衛生講座—講習会—

第16回

- 日 時：平成13年6月9日（土）
- 場 所：大阪市立大学医学部学舎
- (1) 「労働衛生に於ける予測医療について」  
酒井 敏行（京都府立医科大学教授）
- (2) 「中小企業の労働衛生について」  
古木 勝也（京都工場保健会 健康開発部次長）  
参加者数 298名

第17回

- 日 時：平成13年9月1日（土）
- 場 所：神戸クリスタルタワー
- (1) 金属による健康障害とその予防  
井口 弘（兵庫医科大学教授）
- (2) 「健康診断後の措置」  
土屋 五郎  
（三菱重工業株神戸造船所三菱神戸病院名誉院長）  
参加者数 277名

第18回

- 日 時：平成13年10月13日（土）
- 場 所：大阪市立大学医学部学舎
- (1) 海外勤務者の感染症対策  
西山 利正（関西医科大学教授）
- (2) 産業医活動の実際  
山田 誠二（松下産業衛生科学センター副所長）  
参加者数 264名

VII-II. 産業衛生講座—実地研修—

第1回、第2回

- 日 時：平成13年8月8日（水）、23日（木）
- 場 所：大阪産業安全技術館
- 講師 荒井 喜久男  
（社 産業安全技術協会 関西事務所）  
参加者数 84名、87名

VIII. 研究会活動

- (1) 第42回じん肺研究会  
平成13年7月28日（土） 国立療養所近畿中央病院
- (2) 労働衛生法制度研究会  
第7回 平成13年6月2日（土）大阪ガーデンパレス  
第8回 平成13年10月6日（土）近畿大学会館  
第9回 平成14年2月23日（土）近畿大学会館
- (3) 産業精神衛生研究会  
平成14年3月2日（土）アクロス福岡
- (4) 第47回労働衛生史研究会  
平成13年9月29日（土）大阪市立大学医学部学舎
- (5) 第57回産業疲労研究会  
平成13年11月10日（土）天理大学柚之内キャンパス研究棟
- (6) 第13回産業神経行動学研究会  
平成13年7月14日（土）大阪市大医学部研修センター
- (7) 産業衛生技術研究会  
平成14年2月27日（水）大阪産業保健推進センター



**■KKC NETWORK**

滋 賀:077-551-0500

大 阪:06-6304-1532

兵 庫:078-230-7530

三 重:059-225-7426

名古屋:052-735-0821

関 東:047-358-8274

本 部:077-525-3233

公 益:077-525-7744

**KKC** 財団法人 **近畿健康管理センター**

<http://www.zai-kkc.or.jp>

## 平成14年度日本産業衛生学会 近畿地方会事業計画 (案)

### I. 第50回近畿地方会総会

日 時：平成14年5月25日(土) 13:00~16:30  
場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階中講義室  
(1頁参照)

### II. 近畿地方会50周年記念祝賀会

日 時：平成14年5月25日(土) 18:00~20:00  
場 所：天王寺都ホテル 6階 吉野の間  
(12頁参照)

### III. 第42回近畿産業衛生学会

日 時：平成14年11月9日(土) 9:30~17:00  
場 所：大阪医科大学  
学会長 河野 公一(大阪医科大学教授)

### IV. 評議員会

第1回 平成14年5月25日(土)  
大阪市立大学医学部学舎 4階小講義室1  
第2回 平成14年11月9日(土) 大阪医科大学

### V. 幹事会

第1回 平成14年5月25日(土) 大阪市立大学医学部学舎  
第2回 平成14年7月予定  
第3回 平成14年11月9日(土) 大阪医科大学  
第4回 平成15年2月予定

### VI. 近畿地方会ニュース

- (1) 近畿地方会ニュース第50号 平成14年5月1日
- (2) 近畿地方会ニュース第51号 平成14年7月15日
- (3) 近畿地方会ニュース第52号 平成14年10月15日
- (4) 近畿地方会ニュース第53号 平成15年1月15日

### VII. 産業医・産業看護部会

第7回近畿産業医・産業看護協議会  
調整中

#### VII-1. 近畿産業医部会

- (1) 第6回近畿産業医部会研修会  
日 時：平成14年7月13日(土) 13:30~17:00  
場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階大講義室  
基調講演 「産業保健における作業環境管理」  
道辻 広美(松下産業衛生科学センター労働保健部課長)  
シンポジウム  
「作業環境管理における産業保健スタッフのコラボレーション」  
1) 専属産業医の立場から(化学物質を中心に)  
土肥 誠太郎  
(三井化学株 本社健康管理室長)  
2) 専属産業医の立場から(物理的要因を中心に)  
上原 新一郎  
(株JR西日本 大阪鉄道病院保健管理部医長)

#### 3) 衛生管理者の立場から

飯田 力  
(松下電器産業株 照明社人事グループ主事)

#### 4) 作業環境測定士の立場から

道辻 広美  
(松下産業衛生科学センター労働保健部課長)

- (2) ケースカンファレンス研修会(共催)  
調整中

#### VII-11. 近畿産業看護部会

- (1) 平成14年度特別研修会  
平成14年12月実施予定
- (2) 近畿産業看護部会平成14年度研修会  
平成15年2月実施予定

#### VIII. 産業衛生講座—講習会—

##### 第19回

日 時：平成14年8月31日(土) 13:30~16:30  
場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階大講義室

- (1) 産業衛生概論  
徳永 力雄(関西医科大学教授)
  - (2) 職場におけるメンタルヘルスマネジメント  
切池 信夫(大阪市立大学大学院医学研究科教授)
- 第20回、第21回  
調整中

#### IX. 研究会活動

- (1) 職業性筋骨格系障害研究会  
平成14年10月開催予定  
「介護サービス労働者の健康問題をめぐって」の予定
- (2) 産業衛生技術研究会  
総会に部会立ち上げの申請後、承認されれば産業衛生技術部会として活動予定
- (3) じん肺研究会  
調整中
- (4) 職業性腫瘍研究会  
調整中
- (5) 産業精神衛生研究会  
第1回 平成14年6月6日(木) 18:30~  
「職場における自殺」  
第2回 平成14年9月13日(金) 18:30~  
「職場のメンタルヘルスの最近の動向と課題」  
場所は第1回・2回とも住友クラブ(肥後橋)  
本年度中にさらに2回実施予定
- (6) 労働衛生法制度研究会  
本年度中に3回実施予定  
日時・場所等は調整中

## 報 告

## 近畿産業看護部会

## 平成13年度第2回研修会 (14.2.7) より

テーマ「心の健康づくりと産業看護職の役割」

～事例支援の検討～

参加人員：33名 (学会員28名、非学会員5名)

今回のテーマは昨年実施した会員アンケートの結果より要望が多かった、心の健康づくり(メンタルヘルス)の取り組みについて事例を中心に、産業看護職として多角的な視野でどのような支援を行うのが望ましいかをグループディスカッション形式で開催された。助言者として松下産業衛生科学センター副所長 山田誠二先生をお招きした。

はじめに予め提示された2事例に対して、グループ(1グループ6～7名)毎に健康相談場面から治療が必要と思われるケースについての医療機関への繋ぎ方、休職、復職、再発防止にあたって望ましいサポート等について話し合った。本人へのサポートは言うまでもなく、家族、主治医、職制への働きかけ、産業医との連携、人事部門へのメンタルヘルス教育の重要性等々活発なディスカッションが繰り広げられ、話し合った内容をOHPにまとめグループ毎に発表し、山田先生にコメントをいただいた。

先生からは1) ストレス度の高い職場環境を取り巻く状況が急激に変化していること、2) 今後高齢化や勤務形態の変化、就業形態の多様化等々そんな中でますますメンタルヘルス対策は重要であること、メンタルヘルスケア活動とストレス管理体制ではセルフケア、ラインによるケア、事業所内の産業保健スタッフによるケアのあり方、事業所外資源によるケアの必要性についてもわかり易く具体的な講義をいただいた。時間が短くて十分なディスカッションが出来なかったが、その分山田先生の豊富なご経験に基づいた内容が大変参考になり、終了後のアンケートでもほぼ90%以上が有意義な内容であったと答え、次回もぜひ参加型の研修会を望む声が多く出された。参加者は例年に比べ少なかったが、会員の要望を取り入れ企画していくことの大切さを学んだ。

文責：大脇多美代(富士銀行大阪健康管理センター)



## 第9回労働衛生法制度研究会

2002年2月23日(土)午後2時より5時まで、近畿大学会館において開催された。

まず、宮上浩史会員(松下産業衛生科学センター)より「事業者課された責務を担当するのは誰がよいかー衛生管理者の独立性に関連してー」とのテーマで報告が行われた。趣旨は以下の通り。健康診断に関連する事業者の責務を実際に担当するものとして衛生管理者をあげることができるが、健康情報の秘密を保持するためには、事業場内での独立性が確保される必要がある。この点、各事業場内健康情報に接する衛生管理者(産業看護職)は、グループ企業で作る健康保険組合所属で人事権も健保にある事例(A社)、衛生管理者は生産技術部門に所属していて人事部門からは独立している事例(B社)が報告された。B社のように関連事業場群が一定地域に集まっている場合、衛生管理者を本社もしくは別会社に所属させ各事業場に配属させることにより独立性を確保する構想を提起できることも示された。議論では、「独立性」の概念、衛生管理と健康管理の区別、企業外の第三者機関による衛生管理の可能性等様々な点について論じられた。

次に、西山勝夫会員(滋賀医科大学)より「ILOの労働安全衛生関係の条約・勧告の見なおしー第90回総会(2002)121号条約(1964)及び155号条約(1981)に関わる取り組みについてー」とのテーマで報告が行われた。報告では、標記条約の見なおしを踏った標記総会の第5議題報告(VI)についての紹介がなされ、(1)同報告で、occupational disease(職業上の疾病)という用語が用いられ、これは、かつて用いられていたemployment injury(業務災害)とは異なり、通勤事故や、筋骨格系障害や心理・社会的疾患等、職業起因であると疑いをかけられている(being suspected)疾病等を含む広い概念と考えられること、(2)この広い概念に基づいて、職業病リストの新たな改訂に加え、加盟国全体での「疑い」レベルの疾病についての統計化も語られていること、等が述べられた。議論では、こうした問題に関する産業衛生学会内部での議論状況等について確認、今後のあるべき方向性等が論じられた。

文責 宮上浩史、西山勝夫

## 報 告

## 最後の近畿産業衛生技術研究会を開催

今回で最後となる近畿産業衛生技術研究会を2002年2月27日(水)、大阪産業保健推進センター研修室において開催しました。今回は下記の講演をお2人にお願ひしました。

講演に先立ち、河合俊夫さん(中災防・大阪労働衛生センター)から近畿地方会産業衛生技術部会発足の提案がありました。日本産業衛生学会において産業衛生技術部会が昨年発足しましたが、各地方会においてもそれぞれ産業衛生技術部会を立ち上げるように要請がありました。以前から近畿地方会には、環境測定技術、代謝物等分析技術系の産業衛生技術研究会があり、毎年1回程度研究会を行ってきました。この産業衛生技術研究会を発展的に解散し、新たに近畿地方会産業衛生技術部会として立ち上げるという提案です。この提案を受け、河合俊夫さんを準備委員長として準備会が発足しました。準備会では、規約の作成、部会の目指すもの、要旨などをまとめ、5月に開催される日本産業衛生学会近畿地方会総会に提案し、産業衛生技術部会を発足させる予定です。

続いて、株式会社住化技術情報センター主幹研究員の澤瀉久方さんから「化学物質のリスクアセスメントの進め方」と題する講演がありました。化学物質の労働衛生管理については法規による規制から自主管理へと転換しつつあります。労働安全衛生マネジメントシステムもその手法の一つですが、このシステムを化学物質について運用しようとするリスクアセスメント手法が必要です。澤瀉久方先生には、化学物質のリスクアセスメントの進め方について、職場レベルでできる方法、専門家レベルでの方法について解説していただきました。

大阪府立公衆衛生研究所の熊谷信二さんは「労働衛生管理における作業環境測定と個人暴露測定の役割」と題して講演されました。日本では有害物質の作業環境管理は場の管理として行っています。有害物質の健康影響があるかどうか確認するためには、どれだけ有害物質に暴露されているかを知り、許容濃度と比較し評価することが最適な方法といえます。熊谷信二さんは、個人暴露測定と場の測定による管理評価の方法についてそれぞれの観点から論じ、場の測定と共に個人暴露濃度測定も有効ではないか、現実的には現場での状態からどちらの方法が適切かを判断し、よりコストパフォーマンスの良い方法がとれる法体系の整備が必要であろうと論じられました。

文責：古澤 禎司  
(産業衛生技術研究会世話人、京都工場保健会)

## 第75回日本産業衛生学会の報告と御礼

第75回日本産業衛生学会事務局

神戸大学大学院医学系研究科環境応答医学講座  
環境医学・公衆衛生学分野 西尾久英

近畿地方会に委任された第75回日本産業衛生学会は、4月の第2週、神戸市の人工島であるポートアイランドで開催され、無事終了しました。本学会では、私たちの教室が事務局となり、住野公昭教授が企画運営委員長(学会長)を務めさせていただきました。日本産業衛生学会年次会を近畿地方会で引き受けたのは11年ぶりのことであり、神戸市で開催するのは実に44年ぶりのことでした。

学会の会期は4月9日(火)~12日(金)であり、神戸国際会議場、ポートピアホテル、神戸商工会議所が会場になりました。今回の学会の特徴は、住野先生の好きな「産業保健のグローカリズム」という言葉をメインテーマにかかげ、沢山の企画をぎゅうぎゅうと詰め込んだ点にあります。4日間の日程のなかに、学会長講演1題、特別講演3題、学会賞・奨励賞講演3題、教育講演2題、メインシンポジウム1題、シンポジウム5題、公開シンポジウム1題、パネルディスカッション2題、ディベートセッション1題、ランチオン・イブニングセミナー6題、特別報告18題、一般演題558題(口演発表278題、ポスター発表280題)という多数の発表や報告を詰め込むことになりました。その上、評議員会・学会総会、部会、委員会、自由集会、産業保健推進センター展示、ウェルカム・レセプション、懇親会などの行事もこの4日間に押し込んだため、一段ときつい学会スケジュールとなりました。それでも、参加していただいた皆様からは「勉強になった」「今回の学会は楽しかった」という好意的な評判を得ることができました。事務局冥利に尽きます。なお今回の学会への参加者は2,200名を超えました。

また4月13日(土)には特別研修会、産業医プロフェッショナルコース、産業看護教育研修会が神戸国際会議場で催されました。いずれの会も盛況で、特別研修会の参加者は600人を超え、産業医プロフェッショナルコースも40人を超えました。産業看護教育研修会は今回が初めての試みであったにもかかわらず、175人という参加者数を記録しました。

以上のように、学会と関連集会は、運営上のトラブルも少しはあったものの、大成功裡に終了することができました。これも、ひとえに企画運営委員、実行委員、多くのボランティアの方々の並々ならぬ御尽力のお蔭であり、学会事務局各員にかわって、厚く御礼申し上げる次第であります。本当に有難うございました。

## お知らせ

年度の初めにあたり近畿地方の産業保健推進センターの所長・副所長をご紹介します。(設立順に掲載)

## 兵庫産業保健推進センター



所長  
瀬尾 攝 様



副所長  
杓谷 進 様

兵庫県下11の地域産業保健センターに対する支援事業、研修事業の充実に重点に、ビデオ・図書等設備・資料の一層の充実、各医師会・労働行政機関・事業者団体・労災病院等関係機関との連携の一層の強化を図るなど事業所や労働者の「健康確保」のニーズに応えるべく、わが国で最初(平成5年4月)に開設されたセンターの1つとして、一層の事業の充足を図るべく、当センターの態勢を更に強化していくこととしています。なお、当センターは、神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー19階(JR神戸駅から南東徒歩2分)にありますので、多くの産業保健関係者の皆さまのご利用をお願いします。

TEL078-360-4805、FAX078-360-4825

ホームページアドレス <http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~sanpo28/>

メールアドレス [sanpo28@mwd.biglobe.ne.jp](mailto:sanpo28@mwd.biglobe.ne.jp)

## 大阪産業保健推進センター



所長  
植松 治雄 様



副所長  
菊谷 久雄 様

大阪産業保健推進センターでは、産業保健スタッフ等の活動を支援するため、産業保健に関する研修会を開催しているが、平成13年度には産業医に対する研修会として、地域産業保健センターごとにメンタルヘルスに関する研修会と、事例についてグループ討議による、より実践的なケースカンファレンス研修会を大阪府医師会及び日本産業衛生学会近畿地方会と共同で開催した。また、保健師・看護師に対する研修会は日本産業衛生学会の産業看護職継続教育システムに基づいたものとして、短縮Nコースと実力アップコースの研修会を開催した。さらに、3月には米国の同時多発テロに関連し「トラウマティックストレスと心のケア」のシンポジウムを開催した。(設立年月 平成6年4月)

## 京都産業保健推進センター



所長  
油谷 桂朗 様



副所長  
福山 義朗 様

当センターは、平成7年の開所以来7年が経過し、前所長並びにこの間当センターに勤務された相談員を始め関係者のご努力により広く世間からも認知されるようになってきましたがまだ道半ばです。

このことは、ビデオ・図書等の貸出し件数を始め各種の相談事案が年々増加し、ホームページ等のアクセス件数等の状況に現れてきています。

一方、特殊法人等整理合理化計画の厳しい状況の下において、産業保健関係者のニーズに合った事業展開を効果的、効率的に行っていきたくと考えています。

今後も当センターは、産業保健に携わるスタッフ等の「駆け込み寺」として、悩みの解決に一助が出来れば幸いです。

## 滋賀産業保健推進センター



所長  
杉本 寛治 様



副所長  
伊藤 昭男 様

当センターは、平成11年6月9日に開所され、所長以下4名の職員と13名の産業保健相談員で産業保健全般にわたる指導・教育と相談に応じています。

事務所は、日本一の湖である琵琶湖が一望できる位置にあり是非お気軽に足を運んで頂きたいと思っています。

さて、最近における勤労者の健康問題は、食生活の不規則等を原因とする生活習慣病の増加と、企業を取り巻く厳しい経済情勢の中、リストラや転籍等から労働者に対するストレス要因の増大により、職場不適応や過労死及び自殺等のメンタルヘルス問題が社会的にもクローズアップされている現状であります。

今後、健康増進法の法制化等との関連も含め各県の産業保健推進センターの役割は重要な位置付けと考え、勤労者への有効な健康に関する情報の提供とニーズに合った指導・相談等を心がけていきたいと思っています。

今まで以上に、当センターへの御支援と御指導を宜しくお願い申し上げます。

## お知らせ

## 和歌山産業保健推進センター



所長  
杉浦 實 様



副所長  
須山 弘志 様

和歌山県下の産業保健活動の活性化を支援する拠点として、平成12年に新設され、業務実施体制、施設・設備等の整備を図ってまいりました。12名の専門スタッフが産業保健活動全般に関する相談に応じるほか、産業保健スタッフに対する研修にも積極的に取り組んでおります。また、県下の大半が小規模事業場であることから、地域産業保健センターとより一層の連携を図り、小規模事業場のニーズに即した支援や労働者の健康確保に対する支援を行ってまいります。産業保健関係者が気軽に利用できるセンターをモットーに、施設及び環境整備を図り産業保健スタッフのご利用をお待ちしております。

まだまだ厳しい経済情勢が続いていますが県下の産業保健活動の推進、とりわけ労働者の健康確保に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。(設立平成12年6月)

## 奈良産業保健推進センター

奈良産業保健推進センターは、昨年6月に開設されたばかりで、近畿では一番新米のセンターです。

したがいまして、昨年度のセンター活動として、他のセンターのように皆様に紹介できるほどの事業はありませんが、他のセンター同様、開設当初はいかにセンターの事業内容やその存在をアピールし知名度を上げるかと言うことで広報啓発に重点を置いた事業展開に努めてきました。

調査研究事業による「県下の産業保健実態調査」の中間集計によれば、センターの認知度はまだまだであり、本年度も引き続き広報啓発事業を重点事項として取り組んで行くこととしています。

一方、開所2年目センターとしては、その他の研修事業、個別相談事業、情報提供事業等についても、積極的に展開して行きたいと考えています。

特に、産業医研修については、昨年度は奈良県医師会にご配慮をいただきセンターの産業保健相談員が講師を務めた研修会を共催機関として開催いただくなど、センター事業へのご協力をお願いしたところですが、本年度からは、産業医をはじめとする産業保健関係者を対象に本格的にセンター主体の研修会を数多く企画するなど、本来のセンター使命である産業保健活動の支援機関として認知いただけるよう職員一丸となって頑張りたいと思っております。



所長  
有山 雄基 様



副所長  
田中 眞澄 様

近畿地方の労働衛生課長、安全衛生課長をご紹介します。



滋賀労働局  
安全衛生課長  
生田 守 様



京都労働局  
安全衛生課長  
櫻井 博 様



大阪労働局  
労働衛生課長  
豊村 昭則 様



兵庫労働局  
労働衛生課長  
辰巳 吉常 様



奈良労働局  
安全衛生課長  
立原 新 様



和歌山労働局  
安全衛生課長  
牧山 秀士 様

お知らせ

第42回近畿産業衛生学会概要 (第一報)

1. 学会長：河野公一
2. 日 時：平成14年11月9日 (土) 9:30~17:00
3. 会 場：大阪医科大学 臨床第1講堂、  
臨床第2講堂、学1講堂、学2講堂  
住 所：高槻市大学町2-7  
(JR高槻駅；徒歩10分、阪急高槻市駅；徒歩5分)
4. プログラム (案)  
午 前：一般講演 (4会場予定)  
幹事会および評議員会  
午 後：1. 特別講演  
心肺蘇生法の新しい潮流  
-産業現場での救命のための初期対応-  
講 師 富士原 彰  
大阪医科大学救急医療部教授  
2. 産業現場における応急処置の実技講習
5. 親睦会：昼食をかねた親睦会を大学の食堂で予定  
しています (無料)
6. 日本医師会産業医生涯研修単位認定を申請中
7. 日本産業衛生学会産業看護職継続教育  
(実力アップコース) 単位認定申請予定
8. 演題募集要項は地方会ニュース7月号に掲載、  
演題締め切りは9月上旬を予定
9. 学会事務局連絡先：  
大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学教室  
〒569-8686 高槻市大学町2-7  
第42回近畿産業衛生学会事務局 土手友太郎  
TEL 0726-83-1221 内線 2651  
FAX 0726-84-6519

産業精神衛生研究会

年に4回、産業精神衛生の研究や事例検討、実践報告などを行っています。本年度も4回の開催を予定しており場所は肥後橋にある住友クラブをご好意で使用し、木曜か金曜日の午後6時半から9時までを予定しています。

- 第1回：平成14年6月6日 (木) 18:30~  
「職場における自殺」  
精神科医や産業医などからの報告を中心に
- 第2回：平成14年9月13日 (金) 18:30~  
「職場のメンタルヘルスの最近の動向と課題」  
島 東京経済大学教授

産業衛生講座 第19回講習会

日 時：平成14年8月31日 (土) 13:30~16:30  
場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階大講義室  
(JR 地下鉄天王寺駅より徒歩10分)

内 容：講演Ⅰ 産業衛生概論  
講 師 徳永力雄 (関西医科大学)  
講演Ⅱ 職場におけるメンタルヘルスマネジメント  
講 師 切池信夫 (大阪市立大学)

日医認定産業医制度 基礎 後期・生涯 専門3単位申請中  
参加費：6,000円 (テキスト代 (日本産業衛生学会近畿地方会編：『産業医学実践講座』販売価格9,000円) を含む)  
募集人数：300名

問い合わせ・受講申込先：日本産業衛生学会近畿地方会産業衛生講座実行委員会事務局 FAX 06-6266-2181

申込方法：受付開始日 6月20日。「産業衛生講座第19回講習会 (8月31日)」受講希望と明記の上、①氏名、②勤務先名 (職種)、③所属地区医師会名 (医師のみ)、④連絡先の住所・FAX・TEL (自宅か勤務先かを明記)、⑤日本産業衛生学会会員もしくは非会員かを楷書で記載し、上記事務局までFAXでお申込下さい。受講可能か否かについて御連絡致します。(定員となり次第、受付は終了させて戴きます。) お電話によるお申し込み、問い合わせには一切応じられませんので御了承願います。

第6回近畿産業医部会研修会

日 時：平成14年7月13日 (土) 13:30~17:00  
場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階大講義室  
(JR/地下鉄天王寺駅より徒歩10分)  
メインテーマ：作業環境管理における産業保健スタッフ  
のコラボレーション

日医認定産業医制度 基礎 後期・生涯 専門3単位申請中  
参加費：3,000円 (当日払い) 募集人数：300名  
問い合わせ・参加申込先：第6回近畿産業医部会研修会  
実行委員会事務局 FAX 06-6266-2181

申込方法：受付開始日 6月1日。「第6回近畿産業医部会研修会」参加希望と明記の上、①氏名、②勤務先名 (職種)、③連絡先FAXもしくはTEL (自宅か勤務先かを明記) を楷書で記載し、上記事務局までFAXでお申込下さい。定員超過のため参加して戴けない場合のみ連絡致します。(受講票の発送は致しません)



- ヘルスアセスメントから健康支援を
  - ライフスタイル診断
  - 食生活診断
  - 健康体力診断
  - ストレス診断
  - ヘルスナビ
- データベースから健康支援を
  - データベース作成サービス
  - パソコンソフト「ヘルシーWin」
  - インターネットサービス

日本予防医学協会 <http://www.sunnet.or.jp>

- 本 部 東京都江東区扇橋 1-21-25 TEL 03-3649-3651
- 東 日 本 支 部 東京都江東区扇橋 1-21-25 TEL 03-3649-6111
- 関 西 支 部 大阪市北区西天満 5-2-18 TEL 06-6362-9041
- 西 日 本 支 部 福岡市博多区博多駅前 3-19-5 TEL 092-473-0547
- 名古屋出張所 名古屋市東区代官町 39-18 TEL 052-931-0526
- 茨城連絡事務所 茨城県鹿嶋市大字光 3 TEL 0299-82-7736

議 事 録

## 平成13年度第4回定例幹事会

日 時 平成14年1月17日(木) 17:30~19:20  
 場 所 大阪市立大学医学部学舎 12階 セミナー室2  
 出席者 堀口 徳永 藤木 圓藤 原 植本 住野  
 河野 車谷 上田 (計10名)  
 欠席者 橋本 兼高 日高 榊屋 岡田 小泉直  
 河合 埜田 宮上 宮下 田中 (計11名)

(敬称略、順不同)

事務局 清田

## 報告および議題

1. 平成13年度近畿地方会事業報告について  
各部会、研究会に確認した事業報告内容の確認がなされた。
2. 平成14年度近畿地方会事業予定について  
平成14年度事業計画案の資料提出が依頼された。
3. 第75回産業衛生学会開催(神戸)について  
住野企画運営委員長より進捗状況が報告された。
4. 第50回近畿地方会総会記念事業について
  - (1) 50周年記念誌  
河野幹事より、記念誌出版用として積立金の内210万円を支出予算額として計上したいとの提議があり、承認された。  
出版は7月になり(5月25日の総会時に開催されるシンポジウムを掲載するため)ページ数は160ページ位になるとのことである。
  - (2) 第50回総会当日の50周年記念事業について  
学術担当の徳永理事を中心にして学術担当幹事で次回の臨時幹事会までに決めるとの意見でまとまった。
  - (3) 50周年記念祝賀会  
天王寺都ホテルで、50周年記念祝賀会を開催することが決定された。また、「産業医学実践講座」の出版記念会も併催されることが承認された。
  - (4) 臨時幹事会の開催が承認された。  
3月19日(火)17時30分から開催予定。

## 平成13年度臨時幹事会

日 時 平成14年3月19日(火) 17:30~19:40  
 場 所 大阪市立大学医学部学舎 18階 会議室  
 出席者 堀口 藤木 圓藤 岡田 河合 小泉 植本  
 車谷 大脇\* 長澤\* 杉本\* 道辻\* 大東\*  
 上田 原 宮上 住野 上田進 清田\*  
 (計19名)

欠席者 徳永 埜田 宮下 田中 榊屋 日高\* 西村\*  
 山田\* 石山 橋本 兼高 河野 (計12名)  
 \*平成14年~16年新幹事(敬称略、順不同)

事務局 清田

## 報告および議題

1. 第75回日本産業衛生学会について  
住野公昭学会運営委員長より最終の進捗状況が報告された。
2. 近畿地方会平成14年~16年任期幹事選出について  
堀口俊一地方会長より、新幹事および役割分担について報告された。
3. 産業医部会報告  
岡田章産業医部会長より平成14年~16年任期役員案が提出され、承認された。
4. 産業看護部会報告
  - ・植本寿満枝部会長より平成14年~16年任期の幹事名簿が、地方会長に提出された。
  - ・日本産業衛生学会近畿地方会産業看護部会規程の一部改正案が幹事会に提出され、数ヶ所の訂正をもって看護部会規程の一部改正が承認された。
5. 産業衛生講座について
  - ・地方会長より、徳永力雄現学術担当幹事に引き続き産業衛生講座実行委員長を委嘱して受諾の回答があった旨の報告がされた。
  - ・岡田章理事より、「産業医学実践講座」の発刊は5月25日の総会に発売予定である。それを記念して8月31日(土)に、徳永力雄関西医大教授と切池信夫大阪市大教授に講演依頼し、講座を開催する予定である。以上の報告がされた。
6. 平成13年度決算報告および平成14年度予算案について  
圓藤総務担当理事より平成13年度決算の中間報告があり、承認された。平成14年度予算案について討議され、予算案が決定した。
7. 第50回近畿地方会総会について
  - (1) 総会および50周年記念行事(シンポジウム等)  
総 会:日時:平成14年5月25日(土)  
13:00~13:50  
(大阪市大医学部学舎4階中講義室)  
50周年記念行事(シンポジウム等):  
14:00~17:00  
(大阪市大医学部学舎4階中講義室)

(2) 50周年記念事業について

①産業衛生学会近畿地方会50周年記念総会について基調講演・シンポジウムプログラム案が提出され議論された。最終決定を、徳永力雄現学術担当幹事が4月初旬にする事が確認された。

②50周年記念祝賀会について

日 時：平成14年5月25日(土)  
18時～20時

会 場：天王寺都ホテル 6階 「吉野の間」

会 費：3,000円

近畿地方会員には、5月1日号の地方会ニュースに案内を掲載し、総会出欠のはがきに祝賀会の出欠を併せて回答して地方会事務局に返信することが確認された。

③記念出版について

堀口俊一50周年記念事業担当責任者より編集委員会の進捗状況が報告された。出版は11月の近畿産業衛生学会に間に合うよう編集委員総力をあげて行う予定であることが併せて報告された。

(3) その他

河合俊夫幹事より、近畿地方会で30年来活動している産業衛生技術研究会を発展的に解消して部会として立ち上げる準備会が2月27日(木)にできたことが報告された。その上で地方会長に趣意書を提出し、5月25日(土)の近畿地方会総会に議題として提出したいとの申し出に、満場一致で承認された。

お知らせ

日本産業衛生学会近畿地方会50周年記念祝賀会  
(併催：『産業医学実践講座』出版記念会)

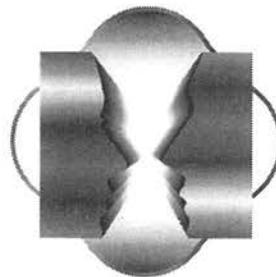
日 時：平成14年5月25日(土)  
18:00～20:00 (17:30より受付開始)  
会 場：天王寺都ホテル 6階 吉野の間  
◆交通機関◆  
・JR「天王寺」駅東口より徒歩1分  
(道路を挟んで正面左)  
・地下鉄御堂筋線・谷町線  
「天王寺」駅③番出口より徒歩1分  
(ホテル地下1階出入口へ直結)  
・近鉄「あべの橋」駅東口より  
ホテル地下1階出入口へ直結

参加費：3,000円(当日受付にて徴収致します)  
※地方会ニュースに同封されておりますハガキにて、5月17日迄に御出欠の旨を御連絡戴きますようお願い申し上げます。

日本産業衛生学会近畿地方会編  
『産業医学実践講座』が刊行されます

産業医学実践講座

編集：日本産業衛生学会近畿地方会



南江堂

近畿地方会の総力を結集した座右の書

産業医学最新の知見を系統的に網羅

研究者および、実践活動家にも、役立つ!!

5月中旬発売予定

発行/株式会社南江堂  
定価/9,000円+税

編集後記

第75回日本産業衛生学会(神戸)は大変盛会裏に無事終わり、学会長の住野公昭先生を始め、関係者特に主宰された神戸大学公衆衛生学(旧称)教室員全ての方々も今は誰よりもホットされている事でしょう。開催に向けての御苦勞はまさに筆舌に尽くしがたいものであったろうと拝察致します。お世話になりました。1日も早く元の研究体制に戻られますよう念じております。学会員数の増加に加え、学外参加者も多く、かつ実質5日間の会期、発表演題の増大どれ一つとっても、もはや一教室で対応し得る状況ではないようです。大変お疲れ様でした。

さて、本地方会ニュースの編集委員が以下のように変わりましたが、本号では前委員会の既定方針通りで発刊致しました。読者諸氏から忌憚のない御意見を賜りながら少しでも変革?!して行くつもりですので、引き続き御支援、御助力をお願い申し上げます。(岡田)

編集委員(五十音順)

大東正明、大脇多美代、岡田章(編集責任)、  
車谷典男、杉本寛治、日高秀樹、道辻広美、山田誠二  
次 回 発 行 日 2002年7月15日  
次 回 原 稿 締 切 日 2002年5月31日